

(編入学)

平成29年度 入学試験問題

小論文

(農学生命科学部 生物学科)

【注意事項】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙1枚と下書き用紙1枚を別に配付してあるので確認すること。
4. 解答は、解答用紙に記入すること。解答用紙以外に記入したものは無効である。
5. 解答用紙の一つのまず目に一文字ずつ入れること。
6. 解答用紙の指定された欄に、学部名及び受験番号を記入すること。
7. 配付された解答用紙は、持ち帰らないこと。
8. 配付された問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ること。

問題1

生物学において普遍的な生命現象を研究する上で、「モデル生物」は重要であり生物の代表として用いられる。「モデル生物」である条件にはどのようなものが考えられるか、実際の生物の例をあげながら解説せよ（400字以内）。なお、モデル生物全般の解説でも良いし、特定のモデル生物に対して詳しく述べても良い。

問題2

近年、日本各地でイノシシやニホンジカなど野生動物による農林業の被害が拡大している。その対策として、日本で絶滅したニホンオオカミに遺伝的に近縁のハイイロオオカミを、国外から害獣駆除目的で再導入することが検討されている。再導入により、どのような問題が生じる恐れがあるか考察しなさい（400字以内）。